ニュースレター　1 月号　　No.144 発行　令和 5 年 1 月 1 日（日）

お産＆子育てサポート

発 行 ・ 編 集
お産＆子育てを支える会
代　表　斉 藤 智 孝
編 集 者　東　直　美
TEL　090-7103-2240

新年明けましておめでとうございます

一日の「長 さ」とは？

年齢を重ねるにつれて一日、あるいは 1 年が過ぎるのを早く感じるのは私だけではないと思います。

19 世紀のフランスの哲学者・ポール・ジャネが発案した〈ジャネーの法則〉でその現象を心理学的に説明しています。例えば、50 歳の人にとって一年の長さは人生の 50 分の 1 ほどで、5 歳のとっては 5 分の 1 に相当します。つまり、50 歳の人にとっての 10 年間は、5 歳の人にとっての一年間にあたり、5 歳の人にとっての一日は、50 歳の人にとっての 10 日にあたるとなります。つまり「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する（年齢に反比例する）」そうです。また、人間は新しいことに取り組むと時間を長く感じるそうで、年をとり、新しいことの出会いが減り、同じ事の繰り返しマンネリ化人生の時間は短く感じるそうです。人生新しい出会いや発見に満ちあふれている子ども達の時間はそう言った意味からも長く感じるそうです。

時というのは皆平等に与えられているのですが、主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられるのは、年長者にとっては悲しい事ですね。年をとっても常に新しいことに取り組み、新しい出会いや発見に満ちあふれるよう、残りの人生を生きたいですね。新年を迎えた今、そのことをこれからの人生の抱負にしたいと思います。

共同助産所　お産子の家
これまでの歩み　そして2023年の予定

2019年まで個人で開業し地域で活動していたり、医療機関や教育現場で働いていた助産師6人が集結し、共同で助産所を開業しようと動き出したのです。

2020年　末　コロナ禍の中、滋賀医科大学附属病院と連携医療機関の契約に約1年かかりました。

2021年1月　東近江保健所にお産のできる助産所として登録
東近江の保険所管内で助産所登録は珍しく、手続きに何度も通い、やりとりしました。

お産ができる助産院（所）は産婦人科医、小児科医のいる病院と契約しなければならないと医療法19条で決められています。それを「連携医療機関」と言います。助産所でのお産を希望する場合、連携医療機関で最低３回（20週.28週.36週）の受診が必要、それを受けて異常が無ければ助産所でのお産ができるのです。

2021年4月1日　めでたく「共同助産所　お産子の家」としてオープン　看板を掲げ、運営始めました。
太郎坊に登る会・ベビーマッサージ・お産塾・オーガミックバース上映会・マミーウスなどのイベントを毎月開始

www.osanko.comのHPを立ち上げたり、osanko2020のインスタやお産＆子育てを支える会のフェイスブックに慣れない投稿したり、ニュースレターを使い宣伝開始～

2021年7月　東近江市と産後ケア事業提携し受け入れ始まります。

「産後ケア制度」が随分知られるようになってきていますがその仕組みまではご存じないと思います。
産後ケアの実施主体は各自治体である市町で、その市町と契約を結んだ医療機関や助産所（院）が産後ケア受け入れ先となるのです。産後のサポートがほしかったり、休みたかったりしたら、お住まいの自治体の保健センターに申し込み、保健センターが許可を出せば契約先の施設で利用できるのです。

2021年8月　1例目のお産（自宅出産）

2021年9月　共同助産所内で初めての出産ありました。着々と毎月1～2件のお産が申し込まれるようになり、少しずつ忙しくなりました。

2022年4月　助産所を開いて1年、平日9時～13時までオープンとする。メンバーの助産師が交代で勤務し、予約なしで助産所にぶらっと立ち寄れる、気軽な助産所をめざします！

2022年9月　ちょっと遅れた1周年記念イベント開催。助産所の内覧会と開業助産師の大先輩である朝比奈順子氏の「命と魂」講演実施。同時に助産所向かいの駐車場でosankoマルシェ開催約30店舗出店、沢山の方が訪れにぎやかな1日となりました。

当初６人の助産師で始めたお産子の家ですが、現在若い助産師が２名増え、８名で運営しています。病院で働いている助産師が開業をめざして実習や見学に来たり、県内の助産師めざす学生の実習受け入れ等に協力中。若い助産師の卵に出会えるときもありますよ。

お産子の家のお産件数

	お産の件数
2021年	6件
2022年	10件
合計	16件

今までのお産の状況は左記の通りで順調に増えており、2023年度は6月までの半年で8件のお産予約が入っています。そして、近くの医療機関でも連携医療機関の契約が結べるように模索中です。現在の滋賀医科大学付属病院が遠くて大変・・・と言われる方に朗報となるよう、2023年は取り組む予定です。

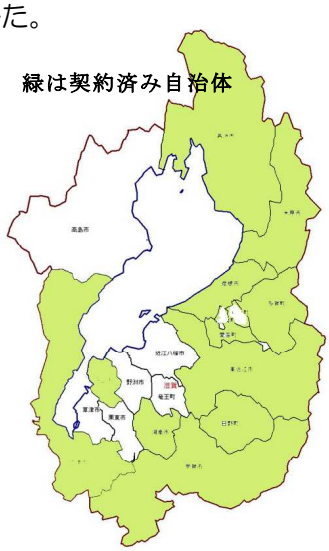
現在実施中の定例イベント紹介

曜日	開始時間	イベント名	1月実施日
第1日曜	8:00	太郎坊に登る会	8日
第1火曜	10:30	マミーハウス	10日
第2月曜	10:30	ベビーマッサージ	9日
第2月曜	13:30	ヨガ教室	9日
第3月曜	10:30	バランスボールレッスン	16日
第3水曜	10:30	産後セルフ整体トレーニング	18日
	13:30	産前セルフ整体トレーニング	18日
第3金曜	13:30	ハローベビー	20日
第3土曜	13:30	お産塾	21日
第4土曜	13:30	近江八幡パパママレッスン	28日
3・6・9・12月の第3土曜	13:30	オーガズミックバース上映会	無し

不定期ですが、「ランチの会」を昨年は2回開催し大盛況でした。三宅助産師のおいしい手料理が大人気！予約はあっという間に埋まります。今年も開催しますので、インスタでの告知をお見逃し無く

産後ケア受け入れ自治体拡大中

2021年7月に東近江市との契約が始まりとなり、米原市・長浜市・彦根市・多賀町・愛荘町・日野町・甲賀市・湖南市・守山市・大津市の県内11の自治体と産後ケア受け入れ施設として契約を結ぶようになりました。利用希望するお母さんも増えており、昨年12月はショートステイ（お泊まり型）6人、デイサービス（日帰り型）5人と過去最高の受け入れになりました。



様々な理由で産後ケアを利用されるのですが、やはり、心身共に休みたいと希望される方が多く、実家のようにくつろげて休める環境を提供できるように努めています。利用されたお母さん達からはゆっくりできた。」「助産師の手作り料理がおいしかった。」と感想を頂く事が多々あり、繰り返し利用して下さる方も増えています。そして、来年以降も契約を希望されている市町が出てきています。有り難いことです。

1月のおっぱい塾　情報

10日（火）10:15 近江八幡アクアはちはぴ広場
23日（月）10:00 八日市お産子の家
23日（月）10:00　彦根市民交流センター（東山児童館隣）
24日（火）10:00「はは こ」水口まるーむ和室
26日（木）10:00 安土コミセン和室
＊おっぱいや子育てで悩んでいる方、ただお話ししたいだけでもOK　開催エリア外からもOK

北海道旭川では連携医療機関の急な契約破棄で助産所でのお産ができなくなり、お母さん達が行政や医療機関を相手に民事訴訟をして、自然なができる助産所残してほしいと頑張っておられます。一方では医療機関の協力が得れずに既に助産所がなくなっている県も少なくありません。お産の選択肢の中に助産所があり、どこでも自然なお産が選べるようになることを願いながら、2023 年もお産子の家は益々皆様のお役に立てるよう、メンバー一同助産所活動に邁進したいと思っています。よろしくお願い致します。